



NO. 2180  
2020. 02. 02

編集発行  
日本共産党鶴岡市議団  
鶴岡市美原町16-5  
電話22-3313

高橋 ちづ子  
智子友  
いぶち  
わぶち  
国会議員連絡所  
鶴岡市美原町16-5  
☎ 22-3313  
FAX 24-4096

無料生活相談所

関 徹  
長者町11-26  
24-2414

加藤 鋳一  
宝徳仲田56  
64-3941

菅井 巖  
中橋96  
33-0534

坂本 昌栄  
稲生2-33-47  
24-5993

山田 守  
宝田1-9-1-31  
23-6548

長谷川 剛  
日枝坂本43-10  
41-9148

# 今度こそ東北で2議席獲得を

## 日本共産党新春のつどい ふなやま由美衆院比例予定候補が決意

日本共産党鶴岡地区委員会と鶴岡田川地区日本共産党後援会は1月25日、新春のつどいを開催し、170人が参加しました。

冒頭、党鶴岡市議団5人と関徹県議、工藤範子庄内町議が各1分間、新年の決意を述べ、大きな拍手に包まれました。

災害で農家が離農しなくていいよう国会議員と連携し国に支援求めた

衆院選比例代表東北ブロック予定候補のふなやま由美氏が駆け付

「今度こそ比例東北ブロックで60万票以上獲得し、念願の2議席獲得を」と決意を述べました。

また、「私は、台風19号で大きな被害があった丸森町の出身。東日本大震災や原発事故に加え今回の被害だ。農家が離農しなくていいように国会議員と連携し、国に支援を求めてきた。ぜひ、野党と市民の共闘で、梅木さんとともに国政へ押し上げてください」と訴えました。

ふなやま由美氏は、宮城県総合衛生学院公衆衛生看護学科卒、宮

城厚生協会で保健師・看護師・ケアマネージャーとして勤務、2003年に仙台市議に初当選し4期務め、19年の参院選比例候補として奮闘しました。

舟山、芳賀両参院議員、鶴岡市長からメッセージ

舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員、皆川治鶴岡市長らがメッセージを寄せました。

訂正 前号2面  
・3段目・左から22行目「聴覚障害者の人に」に訂正します。



会場からの激励の拍手に応える 左から坂本昌栄市議、加藤鋳一市議、梅木たけし衆院山形3区予定候補、ふなやま由美衆院選比例東北ブロック予定候補、関徹県議、菅井巖市議、工藤範子庄内町議、山田守市議、長谷川剛市議



「今度こそ東北で2議席獲得を」と決意を述べる、ふなやま由美氏



# 次期衆院選山形3区 梅木たけし氏を擁立

(61歳写真)を擁立すると発表しました。

梅木氏は、「平和や民主主義、暮らしを破壊する安

日本共産党山形県委員会では1月25日、鶴岡市内で記者会見を行い、次期衆議院選挙山形3区に党鶴岡地区常任委員の梅木たけし氏

倍政治を終わらせ、市民と野党の共同による連合政権実現に向けて立候補を決意した。生協運動や労働組合運動の経験から貧困と格差

を是正するために消費税を5%に戻し、全国一律の最低賃金制の実施や社会保障の充実などが「必要だ」と決意を述べました。

梅木たけし氏の略歴  
鶴岡市出身  
県立山添高校卒  
共立社労働組合執行委員長などを歴任  
現在、党鶴岡地区常任委員

# 子育てと介護両方支援が必要

## 民間保育協議会と市議会厚生常任委が懇談会



羽陽学園短大・渡邊洋一学長が基調講演

少子高齢化を防ぐ要因は、子育てと介護の両立支援が必要であり、仕事に復帰できる環境や受け入れ体制をつくるのが大切となる。

また地域格差も深刻化している。3つ目は子どもを巡る変化としてアレルギーや虐待等の対応が日々起きている。そして、子どもを取り巻く背景について話されました。

### 親の格差を子が引き継ぎ脱出できない

2つ目は、保護者を巡る変化があり、今の日本はまるで江戸時代の土農工商のように、親の職業（格差）を子どもが引継ぎ、脱出

導要領の改定に即して改定されていることを述べました。会場からは「本来の保育が政治でゆがめられている」との疑問も出されました。

### 懇談で給食費無償化求める

保育園関係者との懇談では、保育無償化と副食費徴収の問題や、保育士確保等について現場の声が率直に出され、市に対し給食費の無償化等が強く求められました。

懇談会には厚生常任委員として加藤鉦一、坂本昌栄市議が出席しました。

要性を述べました。

畜産農家「自由化で輸入増え、国産は需要期に値下がりし営農困難」

参加者からは、「現在、鶴岡市・酒田市・庄内町による広域連携の検討がされ始めている。命の水を守ることは大切な事。今日の講演会がきっかけになれば」との感想や、畜産農家から「貿易自由化で輸入が増え、国産の牛肉・豚肉も通常値上がりする需要期の11月から12月と値下がりが続いている。採算割れで営農困難。消費税増税も深刻だ」との声も上がりました。

学習交流会には党市議団と関係県議も参加しました。

### 情報を扱える人と扱えない人の間で格差

鶴岡市民間保育協議会（高橋亨会長・市大山保育園園長）と市議会厚生常任委員会（加藤鉦一委員長）は22日、グラントエル・サンで懇談会を開きました。

懇談に先立ち、羽陽学園短期大学学長の渡邊洋一先生が「子どもを取り巻く環境と保育施設の役割」と題し基調講演を行いました。渡邊氏は「子ども本来は変わっていない。1つ目は社会経済状況の変化に伴い、高度な情報化により情報がお金や資源と同じ価値を持ち、情報を扱える人と扱えない人の格差が生まれている。

国際化により保育園・幼稚園の外国人の幼児や乳幼児が増加し、多様性を求められている。なにより少子高齢化が進み10年後には切実な問題となる。

## 自由貿易で格差拡大、水道民営化は危機呼ぶ

### 田川食健連新春学習会 PARC内田共同代表が特別講演



PARC共同代表・内田聖子氏が特別講演

田聖子氏が「どうなる？日本の水と食糧の未来」をテーマにして特別講演を行いました。

### 自由貿易で格差拡大、食の安全低下

内田氏は、日本が締結してきたTPP、日欧EPA、日米FTAなどの自由貿易協定によってもたらされた「格差の拡大」「食料の安全性の低下」「環境破壊」などの実態を述べ、日本政府が交渉内容や結果などについて国民に隠す事が行われている、安倍政権の

PARC共同代表の内田聖子氏が特別講演

またグローバル化の下で、世界での水道事業民営化が広がる一方で、弊害によって再公営化が進んでいるヨーロッパでの事例も述べ、日本では水道法が改正され「広域・民営化」の議論が進められるようになっていることから、「グローバル化は危機を呼び込む」、「市民が身近な水道事業をしっかりと検証し、将来を考え行動してゆくべき」と学習と運動の必

### 建築課入札結果（ ）内は予定価格

1月23日入札分

- ・温海ふれあいセンター多目的ホール等内部仕上げ復旧工事（温海戊577番地1）（入札4業者）  
（株）マルゴ 8,300,000円（8,560,000円）工期～5/15（落札率96.96%）
- ・温海庁舎アトリウム棟ガラスブロック改修工事（温海戊577番地1）（入札11業者）  
（株）マルゴ 15,300,000円（15,890,000円）工期～5/15（落札率96.29%）